

拡大する新設需要、保全需要に応え、
安全で安心できる暮らしを支える。

Action report

関連事業を集約し、
「社会インフラ総括部」を新設。

国内においては、社会インフラの新設需要だけでなく、老朽化の進む構造物の早急な保全対策が求められており、構造物を点検・診断する技術の重要性が増しています。海外においては新興国の人口増加や経済発展に伴い、様々な社会インフラの新設需要の拡大が予想されています。鋼製・コンクリート製の橋梁事業や、道路・橋梁・トンネルなどの点検に供するレーダ事業などを行ってきた三井造船グループは、2015年4月、両事業の経営資源を集約し、「社会インフラ総括部」を新設。一体的に事業運営を行い、拡大する需要に応え、安全・安心で豊かな暮らしに貢献していきます。

Resource 01

鋼製橋梁
建設技術

Resource 02

PC(プレストレスト)
橋梁建設技術

Resource 03

レーダーを活用した
点検・保全技術

安全・安心なインフラの点検・保全システムをつくりだす

Action for

社会・産業インフラ

大田杵築線1号橋 / 大分県杵築市